

単元名：

「3つのかずをけいさんしよう」

(全○時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年10月15日(金)第3校時

授業学級 1年東組

授業会場 1年東組教室

授業者

指導者

## (1) 主眼 (授業の手立て&amp;ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場面で、○○を通して、○○を□□することができる/できるようになる。

2つの数の計算を学習した子ども達が、3つの数を計算する場面で、数図ブロックや図形を用いたり式を分けて足したりすることを通して、3つの計算の仕方を理解し、答えを導き出すことができる。

## (2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 2つの数の計算の確認をする。	「3匹！」  「2匹！」 「5匹いる！」  「3+2は5だから！」 「黒板に映ったネズミ数えたら5だった。」	「今日は3つの数の計算を勉強していきます。」 「まずは、2つの数の計算を振り返りましょう。」 ねずみがバスに乗るスライドを見せる。 「バスに、何匹のネズミが乗っていますか？」 「バス停で、バスに乗ろうとネズミが来ました。何匹ですか？」 「今、バスの中にはネズミは何匹いるかな？」 「どうして5匹だと思った？」  「みんなそれぞれのやり方で答えを考えられたね。」 「では、次のような場合はどうなるでしょう？」	10分
	【学習問題】 どうやって3つの数の式を計算する？			
	【学習課題】 3つの数の計算の仕方を理解し、答えを導き出すことができる。			

展開	2. 1の問題例を3つの数にして問題をだす。	<p>「3匹！」</p> <p>「2匹！」</p> <p>「さっきと一緒だよ。」</p> <p>「4匹！」</p>	<p>「次はバスの中には何匹ネズミがいますか？」</p> <p>「バス停でネズミが乗ってきました。何匹ですか？」</p> <p>「そうだね、さっきと一緒だよね。」</p> <p>「でも今度は、次のバス停で更にネズミが来ました。何匹ですか？」</p> <p>「今、バスの中は全部で何匹でしょう？時間を取るの、数図ブロックや式を使って、答えを出してみましょう。」</p> <p>時間を取り、それぞれ答えを考える。5分程度で、どうやって解いたかを質問する。</p> <p>「みんなはどうやって解きましたか？答えてくれる人いますか？」</p>	10分
	3. 別の例を使った問題を提示。確認までを一緒にし、個人で問題を解く。	<p>「ブロックを並べて数えた。」</p> <p>「ネズミを描いて数えた。」</p> <p>「最初に3と2を足して5にしてから、5に4を足した。」</p> <p>「<math>3 + 2 + 4 = 9</math>って書いたよ。」</p> <p>「6個！」</p> <p>「4個！」</p> <p>「3個！」</p> <p>「6に4を足すと10になるよ。10と3だから13だと思う。」</p> <p>「絵を描いて数えてみよう。」</p>	<p>「みんな色々なやり方で答えを考えることができましたね。次はもっと大きい数の計算に挑戦してみましょう。」</p> <p>果物の画像をスライドで見せる。</p> <p>「バナナは何個ですか？」</p> <p>「リンゴは何個ですか？」</p> <p>「ブドウは何個ですか？」</p> <p>「全部で何個でしょうか？ノートに書いて解けた人は先生のところまで持ってきてください。」</p>	10分
終末	4. 演習プリントを配る。	<p>「式を書いて解いてみよう。」</p> <p>「数字だけだと難しいから、○を書いて数えてみよう。」</p>	<p>「問題が解けた人には、プリントを渡すので挑戦してみてください。」</p> <p>できた子どもから、プリントを持ってきてもらい、丸付けをする</p>	10分

【本時の評価（評価する対象）】  
3つの数の計算の仕方を理解し、答えを導き出すことができたか。（授業中の取り組み、演習プリント）